

令和8年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立今市中学校

令和8年4月

大阪市立今市中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校の教育の柱は、「学力の向上」「仲間を思いやる心の育成」「生活指導の安定」の3点があげられる。本校では、生徒の個性を尊重し、互いに敬愛協力する教育活動を推進し、保護者・地域と連携を深め、豊かな学校生活の実現に努めてきた。

「学力の向上」のため、**学力分析の活用・授業改善、言語活動の充実、ICT機器の活用**を中心に進めている。

**学力分析の活用・授業改善**に関しては、「全国学力・学習状況調査」、「中学生チャレンジテスト」「大阪市小学校学力経年調査」、の調査結果を分析し、生徒の状況を把握し、それぞれの教科指導を充実させている。

**言語活動の充実**については、全学年で実施するリーディングスキルテストの結果を活用し、全教科において読解力が高まるよう取り組んでいる。

**ICT機器の活用**は、1人1台学習用端末を活用した授業を実施している。また、プログラミング教育を推進している。

「仲間を思いやる心の育成」ために自主的活動を増やし、今年度も学校生活において生徒自身がお互いに関わる自主的活動に力を入れている。

「生活指導の安定」では、教職員の絶え間ない努力もあって、現在は落ち着いた状況で学校生活を送ることができている。この状態が長く続き安定するために、生活指導体制を再構築し、学年・学校が一つになって指導にあたってきた結果といえる。また、「**小中連携**」の要として行ってきた小学校専科については、今年度も数学・保健体育科で継続して実施し、「中1ギャップ」の防止に努めている。

**中期目標**

**【安全・安心な教育の推進】**

○令和11年度全国学力・学習状況調査において、「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。

○令和11年度全国学力・学習状況調査において、「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○令和11年度全国学力・学習状況調査において、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に答える生徒の割合を83%以上にする。

○令和11年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女とも1.01以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

○令和11年度学校生活アンケートにおいて、「学習者端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。

○令和11年度末本市調査において、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

○年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に答える生徒の割合を88%以上にする。(R7 87.8% 校内調査)

○年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に答える生徒の割合を88%以上にする。(R7 81.1% 校内調査)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に答える生徒の割合を75%以上にする。(R7 アンケート未実施)

○令和8年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.1ポイント向上させる。(R7 男子0.95 女子1.01)

### 【学びを支える教育環境の充実】

○年度目標アンケートにおける「学習者端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。(R7 アンケート未実施)

○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月35時間以下にする。  
(R7 36時間45分)

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市立今市中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> ○年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に答える生徒の割合を88%以上にする。(R7 87.8% 校内調査) ○年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に答える生徒の割合を88%以上にする。(R7 81.1% 校内調査)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 ・生活指導体制を再構築し、学年全体・学校全体で指導にあたる。 ・生徒の些細な変化を見逃さないために、「心の天気」を活用する。	
指標 年度目標アンケートにおける「学校のルールを守っていますか。」において、肯定的に回答する生徒の割合を97%以上にする。(R7 97.9%)	
取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】 ・学校生活を送る中で、自分の長所や短所を見つけるとともに、他者との関わりからより良い行動を考えさせる機会を設ける。	
指標 年度目標アンケートにおける「学校生活をとおして人を思いやる心が育っている」において、肯定的に回答する生徒の割合を93%以上にする。(R7 93.1%)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

## 大阪府立今市中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に答える生徒の割合を75%以上にする。(R7 アンケート未実施)</p> <p>○令和8年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.1ポイント向上させる。(R7 男子0.95 女子1.01)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>・全学年でリーディングスキルテストを実施し、全教科で生徒の読解力を育成する。</p> <p>指標 年度目標アンケートにおける「授業がわかりやすい。」において、肯定的に回答する生徒の割合を87%以上にする。(R7 86.8%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、生徒間の「学びあい」を指導の主眼においた活動を教科指導に取り入れていく。</p> <p>指標 年度目標アンケートにおける「先生方は教え方をいろいろと、わかりやすく工夫している。」において、肯定的に回答する生徒の割合を93%以上にする。(R7 92.8%)</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>・保健体育の授業において、補強運動、柔軟運動の充実を図り、筋力および瞬発力の育成に努める。</p> <p>・保健体育に対する苦手意識を減らすために専門的指導を行うことで運動能力を高めるなど結果を出し、生徒の関心・意欲を高める工夫を行う。</p> <p>指標 年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を88%以上にする。(R7 88.7%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

## 大阪府立今市中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○年度目標アンケートにおける「学習者端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。(R7 アンケート未実施)</p> <p>○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月35時間以下にする。(R7 36時間45分)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器、1人1台学習用端末を活用した授業の実施。</li> <li>・AIドリルの有効的な活用方法を研究し、教育環境を整える。</li> </ul> <p>指標 年度末の校内調査における「先生がICT機器(1人1台学習用端末)を授業で使うことにより、授業に対する興味関心が高まった」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75%以上にする。(R7 74.6%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>働き方改革を推し進めるために、教職員の働きやすい環境を整備する。</p> <p>指標 教員の時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロにする。(R7 11人)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	